

担い手通信 平成30年度第3号

【第3回 地域福祉の担い手育成推進委員会報告】

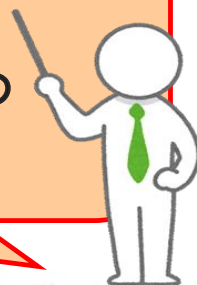


活動の広がりに向けて ～地区の持つ力・財産を活かそう～



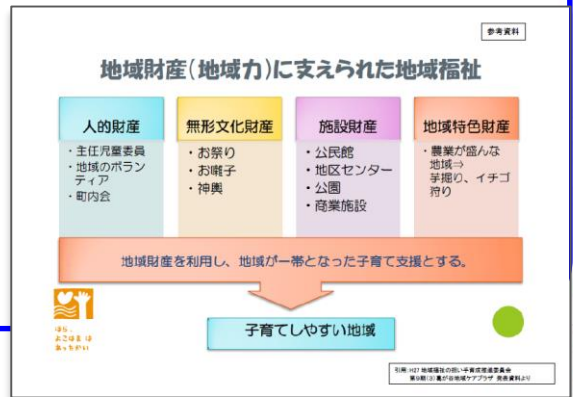
「地域福祉の担い手育成推進委員会」では、第1回の委員会で委員の皆さんに“宿題”をお願いし、地域アセスメントシート「探検！私たちのまち！」を使って、地区の活動や状況を確認してまとめてもらいました。

第3回の委員会では、そのシートを使って、それぞれの地域の財産をどう活かすかを考えるワークをしました。



『“地域の財産” …どんなのがあったかな?』

同じ地区の委員とのペアワークで、宿題から地域財産を「人・文化・施設・特色」別に洗い出しました。そのあと、グループの他の地区の委員とそれぞれの地区の状況を共有しました。



“地域の財産” …どうやって活動に活かしてるの?

湘北地区「みんなの居場所」の活動事例を「市社協劇団」のロールプレイでひも解きながら、どんな風に地域財産を活用して活動がされているのか、ヒントを探りました。



「こんな活動があったら…」(グループワーク)

グループで共有した“地域財産”を使って、「こんなことがやってみたい!」というアイデアを出しあいました。

地域を良く知る高齢者の方に
ガイドをおねがいしたら
どうかな?

世代間交流のための
地域めぐりが
やってみたい!

次回第4回の委員会は12月17日(月)10時~12時に農協ビル2階のB会議室で開催します。他市の取り組み事例を通して、地区アセスメントを地域の活動に活かす視点について学びます。また次回、よろしくお願いします!

